



AVANT

AVANT 決算説明会

～AVANT Groupの中長期戦略について～

株式会社アバント
(証券コード3836 JASDAQ)

2017年(平成29年)8月4日

- I. 2017年6月期の決算概要
- II. 2018年6月期通期業績予想
- III. 株主還元策
- IV. 長期経営目標と中期経営計画
- V. ギャップを埋めるための活動
- VI. 質疑応答

I-1. 2017年6月期の業績ハイライト

AVANT

売上高
100億円を突破

営業利益
過去最高水準

当期利益
対前期比微増

105.3
億円

13.0
億円

6.6
億円

対前期比

+9.6%

対前期比

+17.7%

対前期比

+0.4%

I-2. 2017年6月期売上高の増減要因

AVANT

- ライセンスは前期に発生したBI領域での大型案件獲得の様な特殊要因がなく減少
- コンサルティング・サービスは全社売上の約6割を占めているが、DIVAおよびZEALそれぞれの事業領域において旺盛な需要に支えられ増加
- サポートはDivaSystem製品の売上が堅調に推移した一方で、連結決算や納税業務のアウトソーシング・サービス部門が引き続き高成長を達成

2017年6月期のセグメント別販売実績と各事業会社の寄与度*

販売実績	DIVA	ZEAL	ID**	金額	対前期比
				億円	
ライセンス販売	86%	14%	—	7.0	-7.1%
コンサルティング・サービス	49%	51%	—	61.6	8.9%
サポート・情報検索サービス	85%	12%	3%	36.7	14.7%

*: 寄与度は概算; 当該割合は毎年変化

** : インターネットディスクロージャー(Internet Disclosure)の略

I-3. 2017年6月期営業利益の増減要因

AVANT

営業利益2016年6月期1,109百万円 → 2017年6月期1,306百万円
+ 196百万円増加

(百万円)

プラス要因	金額
[+] 売上高増	919
[-] その他諸経費	37
Total	956
増加	196

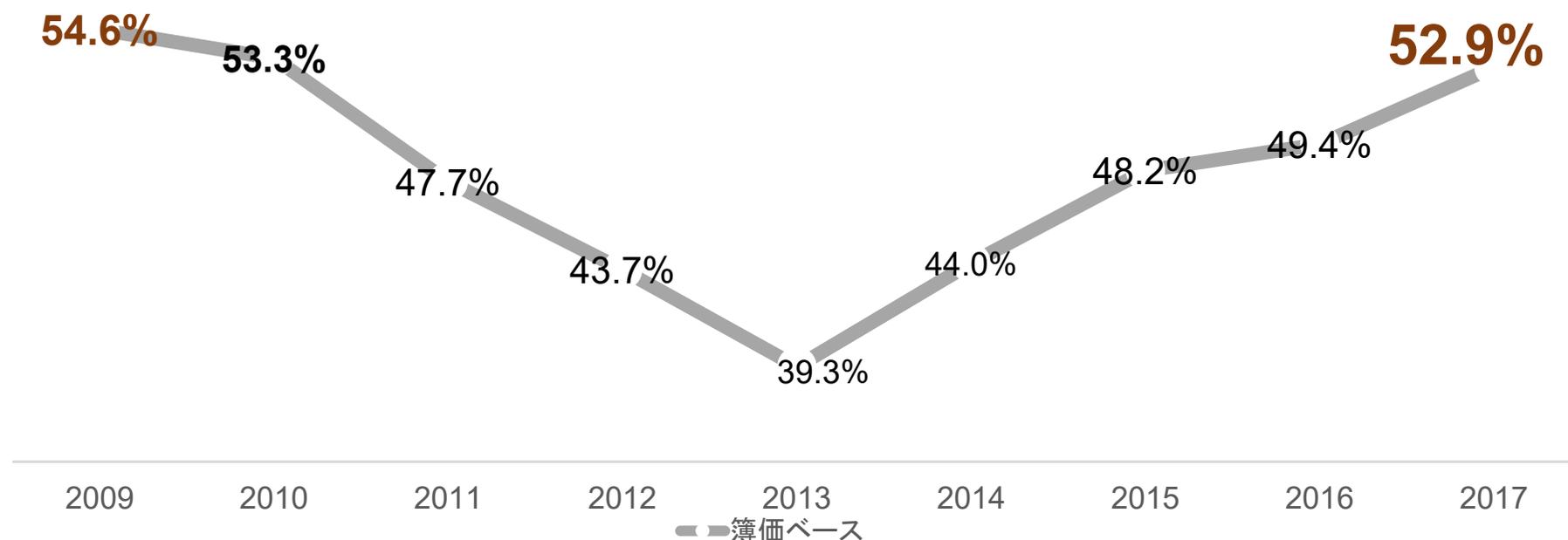
マイナス要因	金額
[+] 人件費	386
[+] 受注損失	94
[+] オフィス費用	71
[+] 外注費	67
[+] 採用費	62
[+] I T 費用	47
[+] 仕掛減少(原価増加)	19
[+] 仕入れ	14
Total	760

I-4. 2017年6月期B/S(財務)概況

AVANT



純資産比率は50%台を回復！



Ⅱ. 2018年6月期の業績予想

AVANT

- 市場環境に大きな変化はなく、コンサルティング業務全般、およびアウトソーシング業務に対する需要は堅調ではあるものの、実装できるかどうかが鍵
- 採用した人材が売上貢献するまでのリードタイムを考慮し、生産性および利益率の一時的低下を予想、合わせて人見合いの費用(オフィスの拡張等)も発生
- 働き方の見直し等の社会情勢を鑑み、予めその影響を織り込む
- 将来に備えたR & Dは、業況が著しく悪化しない限り継続
- 特別損失の発生は予想されず、当期利益は増加

売上高
112.4
億円

対前期比
+6.8%

営業利益
12.2
億円

対前期比
-6.3%

当期利益
7.5
億円

対前期比
+13.3%

Ⅲ. 株主還元策

AVANT

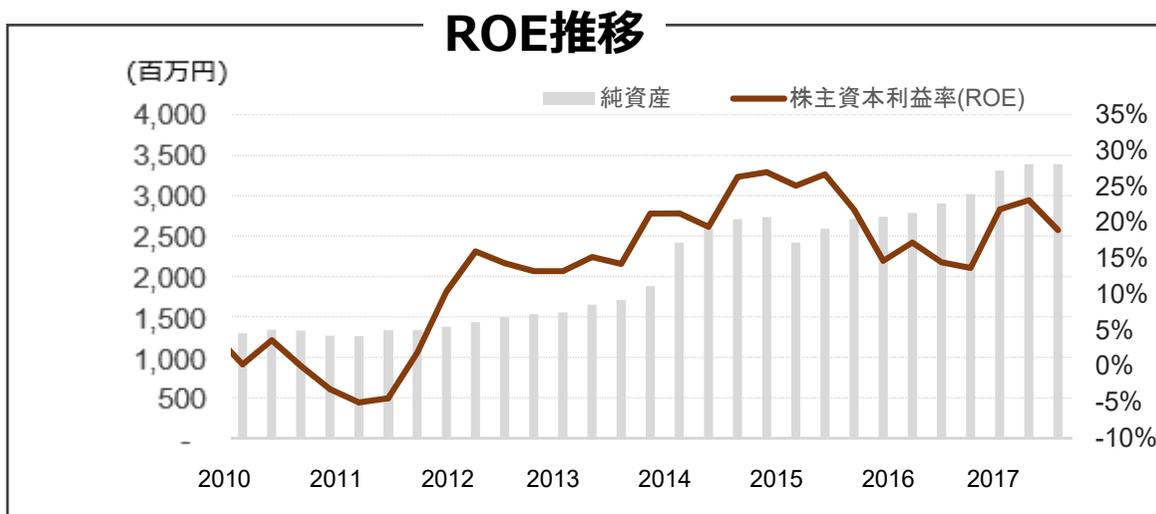
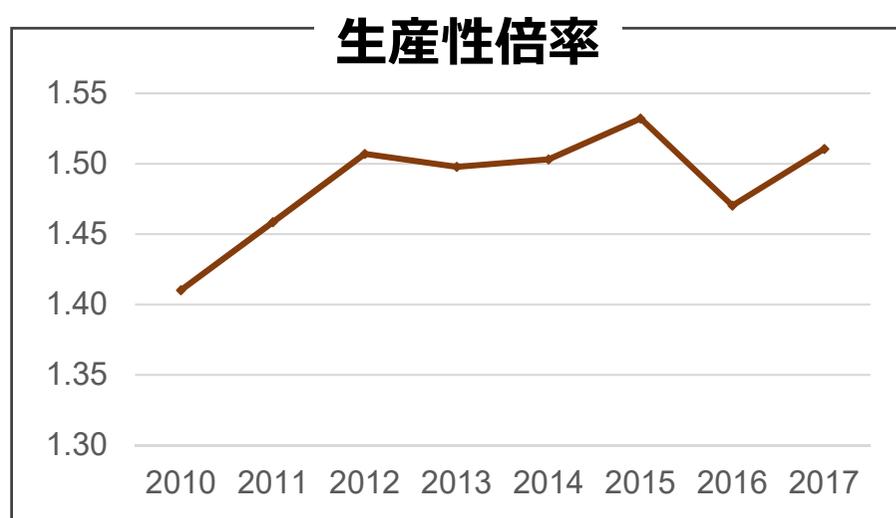
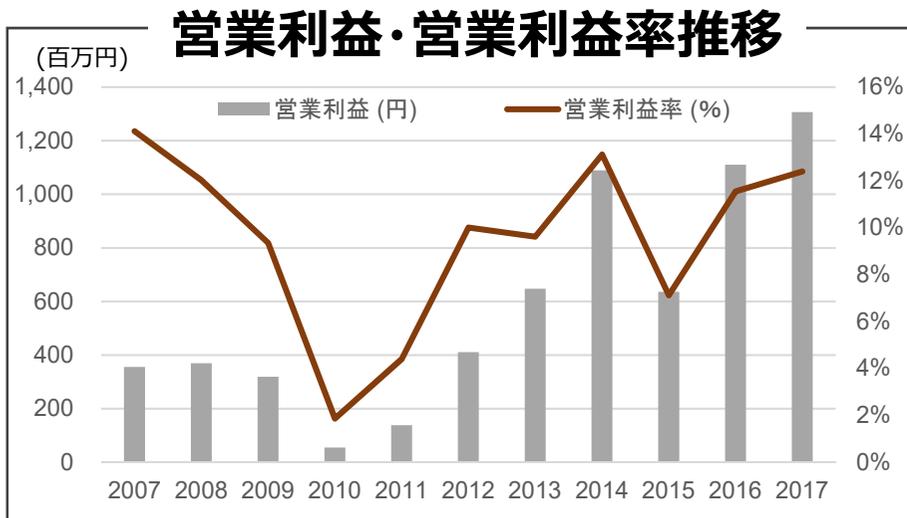
- 2017年6月期については、1株当り11円との期首予想を決算状況を見て、1株当り16円に変更(対前期比7円の増配)
- 2018年6月期は営業利益で純減を予想しているものの、配当額を据え置きするほどの状況ではないと判断しており、むしろ、当期利益は増加することが見込まれるところから、3円増配して1株当り19円に設定

1株当り配当金の推移(株式分割の効果調整後)

	2012年6月期	2013年6月期	2014年6月期	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	予想
1株当り配当金(円)	2.0	4.5	13.5	9.0	11.0	16.0	19.0
純資産配当率 当社	1.30%	2.48%	5.84%	3.25%	3.41%	4.18%	4.29%
(参考)東証上場企業平均	2.24%	2.28%	2.39%	2.43%	2.64%	2.78%	-

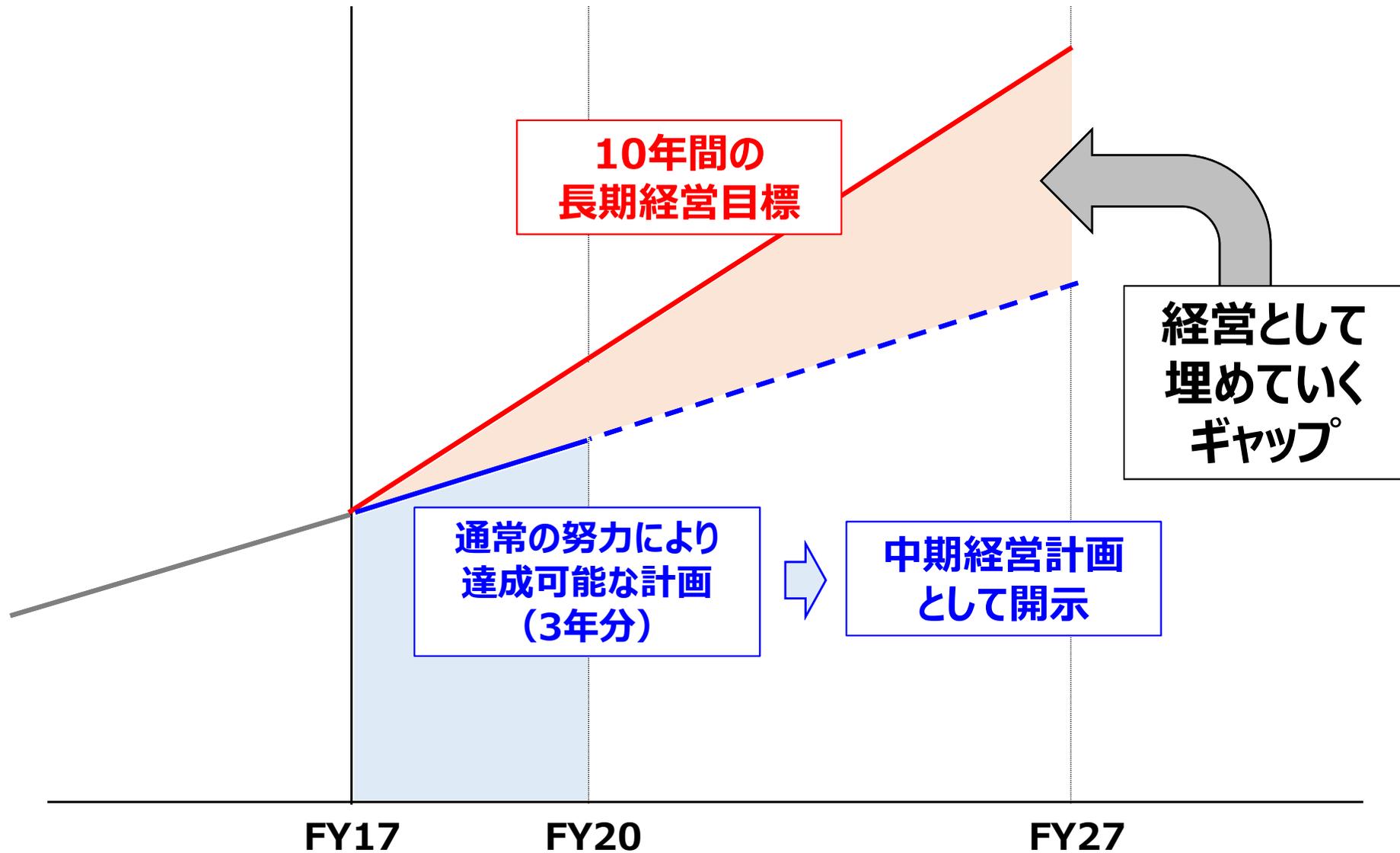
出所:日本証券取引所グループ統計月報より作成; 2017年の上場企業平均純資産配当率については、2016年5月から2017年4月までの12ヵ月で算出

当社の重要な経営指標の推移



* 過去四半期で計算

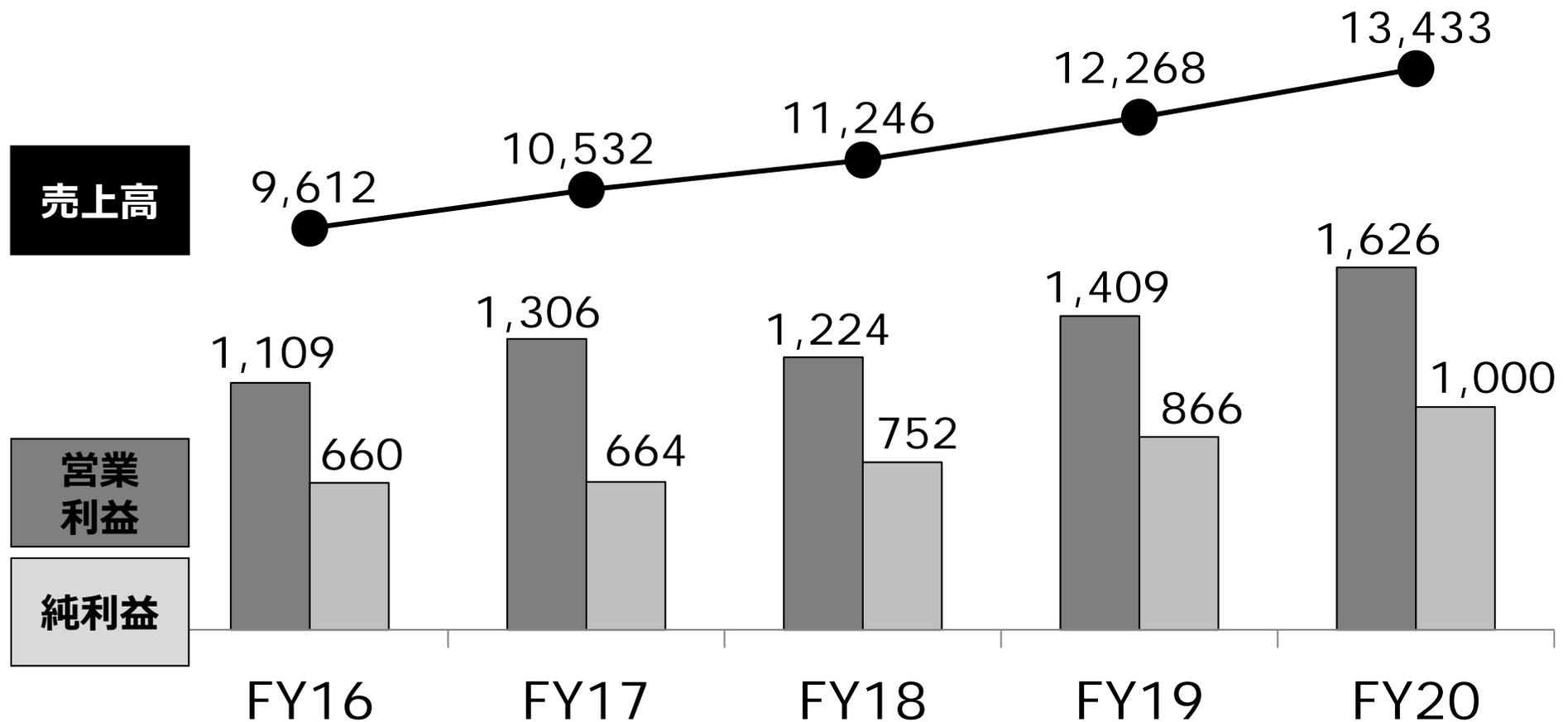
IV-1. 中期経営計画の位置づけ



IV-2. 中期経営計画

AVANT

CAGRは売上高：8.7%、営業利益：10.0%
FY2020に純利益 1,000百万円を実現する

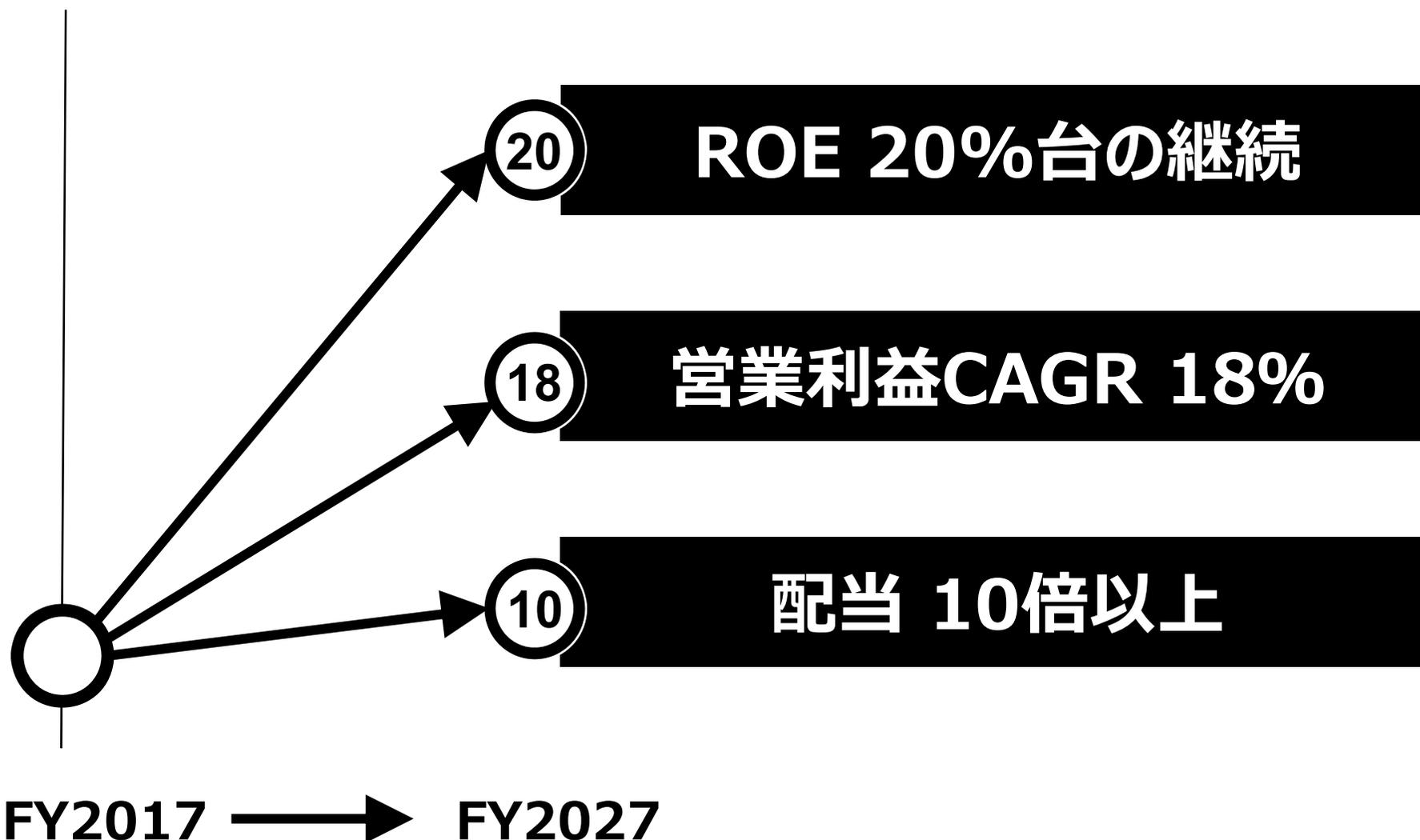


CIFO ACCELERATOR

世界中の、上場企業を中心とするCIFO（CFOとCIOが融合した役割）業務をソフトウェア+SI（見える化）、コンサルティング（使える化）、アウトソーシング（任せる化）という多様な手段で支援するCIFO ACCELERATORグループカンパニーとなることを目指します。

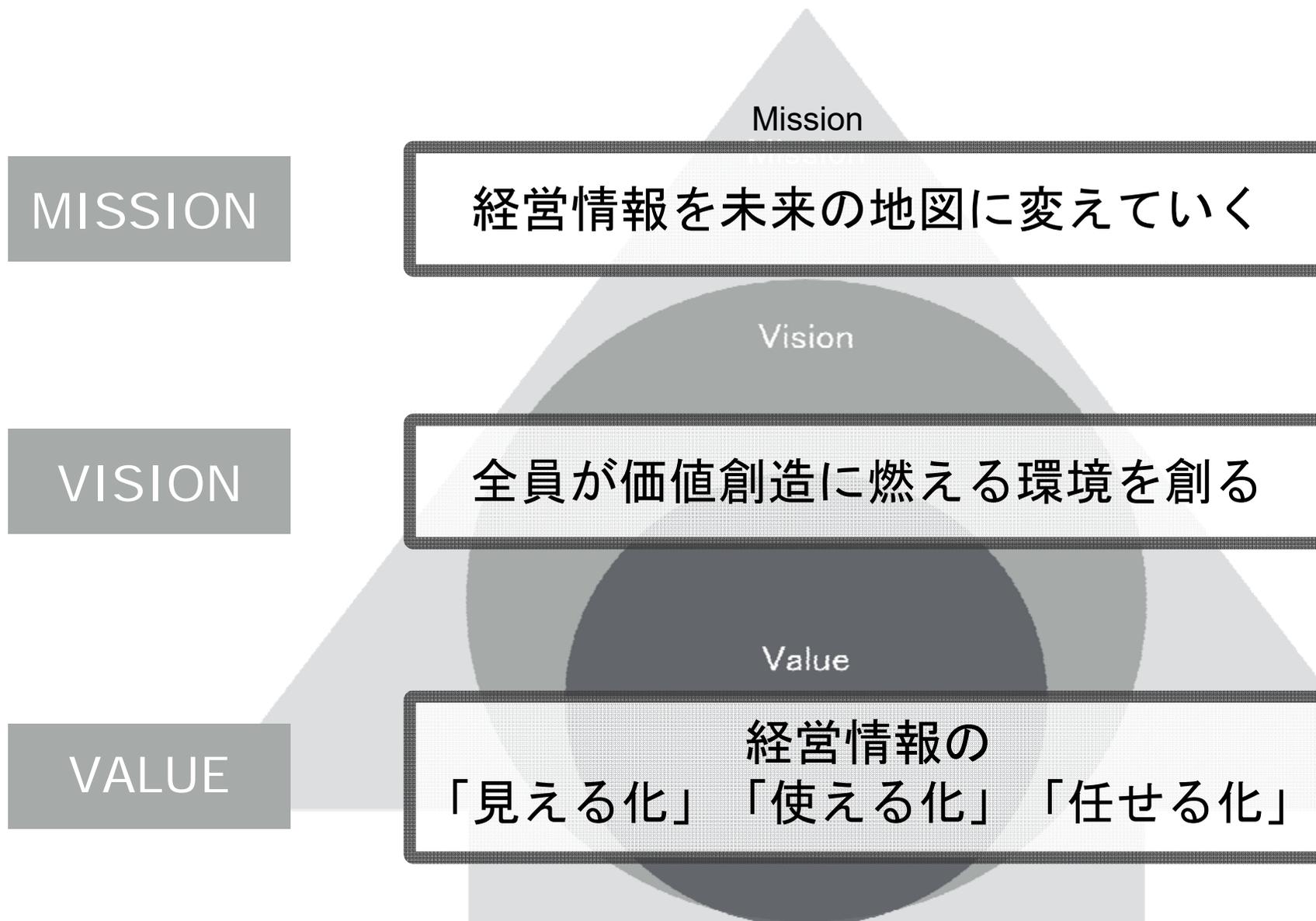
IV-4. 長期経営目標（パフォーマンス）

AVANT



V-1. AVANT Group MVV

AVANT

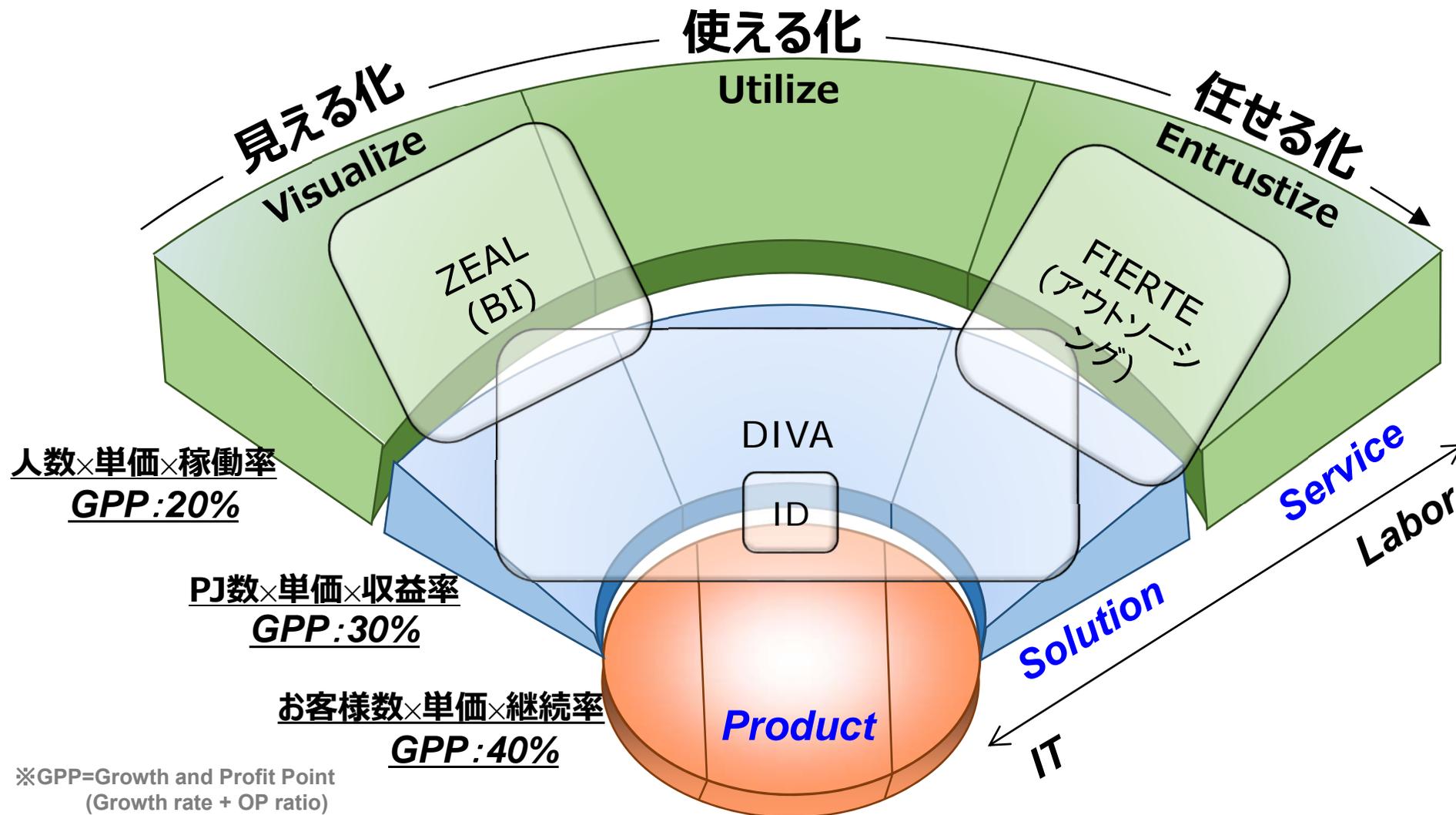


V-2. AVANT Group Business Portfolio AVANT

Global Market

Japan Market

Customer : "CIFO" of Listed Companies



V-3. ギャップを埋めるための活動計画 In Progress AVANT

既存ビジネスの収益性向上

- プロジェクト品質の向上  プロジェクト品質管理部門を設置
- 開発コスト、R&Dコストの最適化
- サービス収益性の改善、サービスのソリューション化

ビジネスの要となる強力な製品の創出

- プロダクトメーカーとしてのアイデンティティを堅持し、収益性を向上するための強力な製品の創出
- 対象領域はニッチだがグローバルに通用する業務ドメイン  新製品のR&Dに継続的に挑戦中

ソリューションの拡大

- お客様ニーズに応じた新規ソリューション開発  税務など新たな領域でもサービスを開始
- Valueに合致する海外ソリューションの積極的な取り扱い  ZEALで新規製品の取り扱いを強化

Global市場への展開

- 国内マーケットを優先しつつ、海外展開の模索は継続  海外進出の責任者（外国人）を登用
- 欧米に固執せず、アジア各国への展開も検討

M&Aへの取り組み

- シナジーを見いだせるような出会いがあれば積極的に取り組む
- 株価を意識した経営  株主還元施策を強化

AVANT

